

公共施設マネジメント基本計画の策定に係る

第2回 対話の場

資料



平成27年10月8日(木)

牧之原市政策協働部地域創生課

1 振り返り

(1)第1回 対話の場

日時：平成 27 年 9 月 9 日

会場：榛原文化センター3階 大会議室
ワークショップ

テーマ

「公共施設に係る楽しい思い出の出し合い」

テーマ

「全国、牧之原市の現状や公共施設マネジメントの基本的な考え方を聞き、
感じたことを共有する。」

話し合いの様子



大切にしたい視点として、「未来志向で考える」、「賢く使う」、「自分たちで」、「共感」などの意見が出された。

別添のグラフィック
資料で説明します。

共感ポイントのまとめ

個別意見を含めたまとめは、別紙のとおり

大分類	中分類	小分類	意見	グループ番号
大切にしたい視点	未来志向	長期的視点	長期的視野で考える必要性	4
		幸福観の再定義	幸福度は施設の数じゃない!!	6
		子育ての視点	安心して子どもを産み育てる環境の視点で施設を検討	8
			幼保小学校どうしよう?地域コミュニティのために大切	3
		防災の視点	防災の視点を取り入れて、デザイン性を追求する	2
			災害時の有効性を考慮した施設の検討	8
		コミュニティの視点	少子化だけど、地域のコミュニティも大切にしたい	3
	地方創生との連動	人口が増える施策を考える必要がある	3	
	賢く使う	今あるものを生かす	賢く使う	7
			今あるものを賢く使う	1
		工夫	工夫して利用!低コストで実現しよう	2
			工夫で減る分をカバーできる	6
	自分たちで	すぐにやる	やるのは今からでもすぐに!!	7
		できることをやる	要望を言うだけでなく...自分たちのできることを考えたい!	1
			施設に親しみが持てる工夫を	2
			みんなで維持管理していこう!(ソフト面)	5
	共感	情報発信・共有	市民に情報を発信して関心を持ってもらう	2
		理解・納得	合理化と市民の納得	4
今後の取組(具体的方策)	複合化の推進	複合施設	複合施設ができたらいいいね	3
		多機能化	一つの施設を様々な使い方	6
		コミュニティ施設の複合化	行政施設とコミュニティ施設の機能的合併	8
		学校の複合化	学校の統合が考えられるが、通学が問題になる	8
	アセットマネジメントの推進	空き施設の活用	利用方法の探究	5
			空いた施設の有効利用について考える	7
			不要施設の撤去・再利用(ハード面)	5
		空き情報の可視化	空きスペースを可視化する(公共施設)マッピングとか...	1
	協働・官民連携の推進	民間への貸出	民間に貸して魅力的な施設にする。(使用料を資材費にまわす)	1
		修繕における市民協働	修繕で市民ボランティアを活用する	3
	問い・疑問	実態把握	現状と課題の認識	現状の利用状態を知りたい
公共施設を減らすリスクは?			7	
施設の数多さと老朽化			4	

グループ番号は、数字がグループ、丸に数字が共感の順位

(2)現地視察

平成 27 年 9 月 29 日（火）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分
スケジュール

No	視察先	時間	視察内容
1	市役所榛原庁舎	13:30 ~ 13:45	・ 榛原庁舎周辺施設の配置状況 ・ 庁舎や文化センターの施設の状況
2	相良小学校	14:00 ~ 14:40	・ 小学校施設の状況 ・ 相良小学校の施設利用の状況
3	市役所相良庁舎	14:50 ~ 15:20	・ 相良庁舎の持つ機能 ・ 相良庁舎周辺施設の配置状況
4	牧之原市史料館	15: 20 ~ 15:35	・ 史料館の機能 ・ 史料館の施設の状況
5	川崎幼稚園	15:50 ~ 16:30	・ 認定こども園の概要 ・ 子育て支援センターの機能

視察のポイント

今回の視察先は、大きく 3 つの分類

- ・ 旧榛原、相良の中心にある行政・文化機能を持つ施設
- ・ 全体の 4 割を占める学校施設
- ・ 民間の認定子ども園（幼保一体型）施設

現地を見て、雰囲気を感じながら考えることが目的！

視察の様子



閉鎖中の榛原文化センター
ホール棟の前に集合
前回のポイントを確認して出発



相良小学校では、空き教室を特別支援教室や放課後児童クラブなどに利用



相良庁舎で議場を見学、
同じような施設が榛原
庁舎にもある。

史料館は、旧相良町民の想い
が込められた施設
老朽化が進んでいる。



幼保一体型の認定子ども園に子育て
支援センターの機能も複合化
民間運営、官民連携のヒントを得た。



【西尾さんから講評】

- ・何十年も経つ間に、建物の使い方が大きく変わっている。
小学校の空き教室の利用、給食センターの資料館への転用
- ・保育や子育ては民間だって担える。
- ・子や孫世代のために前例にとらわれずに思い切った発想で考える。
- ・何十年先を見通した賢い使い方を考えよう。

別添のグラフィック
資料で説明します。

2 今日の進め方

(1) 前回の振り返り

- ・ 前回の内容は、分野別の話し合いを進めるために非常に重要な内容
- ・ 前回の内容をグループでもう一度話して、内容を思い出す。

(2) 分野別のありたい姿を考える

- ・ 現状や現在から考えても思い切った発想は出てこない。
- ・ 最初に分野別にありたい姿をグループで話し合う。
目指す目標になる。

前回のポイントを
忘れずに！

(3) 現状を聞いて、感じたこと、思ったことを意見交換

- ・ 市役所の各施設担当から現状の説明を聞く。
- ・ そのうえで感じたことや思ったことを意見交換する。
(2) で話したありたい姿とのギャップが今後の課題や取組内容になる。

No	部会	分類	分類	分類
1	行政・文化施設	庁舎	文化施設	
2	学校・体育・子育て施設	学校	体育施設	保育園・幼稚園
3	コミュニティ・公園施設	コミュニティ施設	公民館	公園
4	保健福祉・観光産業施設	保健福祉施設	観光施設	

市の施設担当から分類 ~ の施設を部会毎に説明を聞く。

説明内容は、施設の利用状況と老朽化の状況（各 3～5 分程度）

第 3 回で更に具体的に
話し合おう。

3 連絡事項

次回は、10月23日（金） 午後1時30分から4時30分

会場は、相良総合センター い～ら 福祉団体活動室 です。

【事務局】

牧之原市政策協働部地域創生課（本間直樹）

電話：0548-23-0053 FAX：0548-23-0059

E-mail：seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

牧之原市公共施設マネジメント 第1回対話の場(2015.9.9)
ワークショップ 共感ポイント

大分類	中分類	小分類	意見	グループ番号				
1	大切にしたい視点	未来志向	長期的視点	長期的視野で考える必要性 子どもたちの明るい未来のため 次世代に借金・ツケを残さない 40年後を見据えて、時代の変化とともに考え方を考える	4			
		スピード感 今やるしかない!今やらねば手遅れに ワクワク感 センスのよい おしゃれな プライオリティ・優先順位	幸福観の再定義	幸福度は施設の数じゃない!! 発想・意識の転換、既存概念にとらわれない	6			
			子育ての視点	安心して子どもを産み育てる環境の視点で施設を検討 子どもを産んで育ててくれるまちに お母さんが集まる場所、子どもも通える 「地域の目」で安心を	8			
			防災の視点	防災の視点を取り入れて、デザイン性を追求する 災害時の有効性を考慮した施設の検討	2 8			
			コミュニティの視点	少子化だけど、地域のコミュニティも大切にしたい	3			
			地方創生との連動	人口が増える施策を考える必要がある 少子化を止める施設の使い方	3			
			賢く使う	今あるものを生かす	賢く使う 現状に合った使い方 平日/休日の有効な活用	7		
			賢く、スマートに ムリ・ムダを省く 低コストで	施設を長生きさせる 無駄な施設はつくらない 利用のない施設は閉める	今あるものを賢く使う 長く使う、大切に使う 他の地区と共同で使う	1		
				工夫	工夫して利用!低コストで実現しよう 数を減らす 稼働率アップに 工夫で減る分をカバーできる 不要な施設と不足している施設の使い方 使用していない場所・施設を利用	2 6		
			自分たちで	すぐにやる	やるのは今からでもすぐに!!	7		
			みんなで考える 「市民力」を生かす	できることをやる	要望を言うだけでなく...自分たちのできることを考えたい! 利用と負担 施設に親しみが持てる工夫を 多くの人が関わることで愛着を みんなで維持管理していこう!(ソフト面) 利用者が管理していく	1 2 5		
			共感	情報発信・共有	市民に情報を発信して関心を持ってもらう ビジョンの提示と情報提供が前提 地域のつながりを大切に	2		
				理解・納得	合理化と市民の納得 意見交換できる場を 合併の経緯がある 「公平な基準」を 我慢するためには情報・理解が必要 利用者が少なくとも、一方的になくすわけにはいかない、担保が必要 1人でも使っていればムダではない 充足感を満たしつつ削減する 現状に満足していない人もいる	4		
		2	今後の取組(具体的方策)	複合化の推進	複合施設	複合施設ができればいいね 組み合わせることでもっと便利に 複合施設をうまく機能させるポイント 図書館の充実 公園・スポーツ施設・子育て施設の複合	3	
					多機能化	一つの施設を様々な使い方 多目的な利用を	6	
					コミュニティ施設の複合化	行政施設とコミュニティ施設の機能的合併	8	
					学校の複合化	学校の統合が考えられるが、通学が問題になる 少子化で学校の統廃合も必要 跡地利用を考える必要がある、地域での管理	8	
					アセットマネジメントの推進	空き施設の活用	利用方法の探究 農地の活用も 市民に開放 空いた施設の有効利用について考える 空き教室の活用 不要施設の撤去・再利用(ハード面) 修繕費のかかりすぎる施設は見直す	5 7 5
						空き情報の可視化	空きスペースを可視化する(公共施設)マッピングとか...	1
					協働・官民連携の推進	民間への貸出	民間に貸して魅力的な施設にする。(使用料を資材費にまわす) 賃借料で修繕費をまかなう ツタヤ図書館民営化 民間の「積立金」方式を 我慢するためには情報・理解が必要	1
				修繕における市民協働	修繕で市民ボランティアを活用する 市民の「日曜大工」で 区や組で管理している施設はどうするのか?	3		
3	問い・疑問			実態把握	現状と課題の認識	現状の利用状態を知りたい 誰が使っているのか(一部の市民では?) 空き部屋はどのくらいあるのか? 公共施設を減らすリスクは? 不便、通学・通学のアクセス 子どもがいなくなるのでは? 施設の数の多さと老朽化 思ったより施設多い 築30年以上経っている施設多い 大規模修繕はどのくらい必要か?	7 7 4	